

未来創生文化部指定管理候補者の選定結果について

1 申請団体名及び選定結果

| 施設名 | 申請団体名 | 選定結果 |
|--|---------------|---------|
| 徳島県立男女共同参画交流センター（仮称） （ホール、展示ギャラリー等を利用に供する業務等） | 一般財団法人徳島県観光協会 | 指定管理候補者 |

（選定理由）

一般財団法人徳島県観光協会は、明確な管理運営方針を有しており、様々な公の施設の管理運営によるノウハウの蓄積に加え、施設管理をはじめ、イベントや防災等に関わる有資格者を配置する等、適切な管理運営が可能である。

また、誘致・営業活動を行う担当者を設け、積極的な訪問営業や最新情報の発信による新規顧客の開拓等の提案がされており、男女共同参画社会の実現に向けた更なる交流・活動へと繋がることが期待される。

以上のことから、選定委員会における審査において、選定基準に基づく評価項目のすべての点で適切であると認められており、指定管理候補者として適格な団体であると判断した。

| 施設名 | 申請団体名 | 選定結果 |
|-----------------------------------|----------------------|---------|
| 徳島県立男女共同参画交流センター（仮称） （子育て支援業務） | 公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク | 指定管理候補者 |
| | 株式会社クラッシー | — |

（選定理由）

公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークは、明確な管理運営方針を有しており、県内7か所のファミリー・サポート・センター（以下「ファミサポ」という。）や3市町の地域子育て支援拠点の運営実績に加え、保育士や子育て支援員といった有資格者の常時配置や保育士による子育て相談の実施等、適切な業務運営が可能である。

また、本財団会員向けの会報をはじめ、冊子掲載店舗や施設での割引やサービスが受けられる「くーぽん丸。」、ファミサポ等のリソースを効果的に活用した広報のほか、子どもを預かる施設で重要となる安全管理の具体的な取組等の提案がされており、安心・安全なこども室の利用促進が期待される。

以上のことから、選定委員会における審査において、選定基準に基づく評価項目で高く評価され、指定管理候補者として適格な団体であると判断した。

2 選定委員会委員

選定委員会委員については、次のとおり計5名の委員構成とした。

| 役 職 | 氏 名 |
|-----------------------------|--------|
| 株式会社あわわ会長 | 坂田 千代子 |
| 日本労働組合総連合会徳島県連合会中央地域協議会事務局長 | 板東 喜代子 |
| 税理士 | 榎本 久実 |
| 徳島文理大学名誉教授 | 阿部 頼孝 |
| 未来創生文化部副部長 | 小椋 昇明 |

3 選定の経緯

| | |
|------------|--|
| 令和2年 7月13日 | 第1回選定委員会 (募集要項の承認, 審査基準及び選定要領の決定) |
| 16日 | 募集開始(募集要項の公表) |
| 8月20日, 26日 | 現地説明会 |
| 8月31日 | 募集要項配付終了 |
| 9月 2日~16日 | 申請書類受付 |
| 10月 5日~11日 | 各選定委員が申請書類を事前分析 |
| 12日 | 第2回選定委員会 (書類審査, 提案説明, 質疑, 指定管理候補者の選定) |
| 10月22日 | 選定委員会からの選定結果報告書受理 |

4 選定委員会における選定結果

| 施 設 名 | 申 請 団 体 名 | 総 合 得 点 |
|---|----------------------|---------|
| 徳島県立男女共同参画交流センター(仮称)(ホール, 展示ギャラリー等を利用に供する業務等) | 一般財団法人徳島県観光協会 | 適 |
| 徳島県立男女共同参画交流センター(仮称)(子育て支援業務) | 公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク | 93.00 |
| | A団体 | 91.00 |

5 指定管理候補者の提案内容

施設名：徳島県立男女共同参画交流センター（仮称）
（ホール、展示ギャラリー等を利用に供する業務等）

| 区 分 | 一般財団法人徳島県観光協会の主たる提案内容 | | | | | | |
|---------------------------------|--|---------------|-------|-------|---------------|---------------|---------------|
| <p>県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○センターの設置目的を理解し、「安全・安心・快適」を基本方針とする、「使いやすい」「県民に愛される」施設づくりの推進 ○「アフターアンケート」の送付をはじめ、利用者ニーズを的確に把握し、経営会議での分析・評価や問題点の迅速な改善 ○誘致・営業活動を行う担当者を設け、積極的な訪問営業や最新情報の発信による新規顧客の開拓 ○新型コロナウイルス感染症をはじめ、感染症の特性に応じた来場者への注意喚起や啓発用サイン掲示等の実施 | | | | | | |
| <p>効率的な管理運営 （経済性の追求）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○基準額（指定管理料）との対比 （税込） <table border="1" data-bbox="671 936 1265 1104" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">基 準 額</th> <th style="text-align: center;">提 案 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">R3 ～ R7</td> <td style="text-align: center;">35,792,900円/年</td> <td style="text-align: center;">35,792,900円/年</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心・快適な施設提供を目指し、日常的・定期的な設備保守点検や、計画的な更新・修繕の実施 ○照明機器のLED化や、雨水タンク設置による水資源の有効活用等、節電・節水の実施 ○チラシ類、看板、垂れ幕等の自主制作による経費の抑制 ○委託業務への入札による業者選定の実施 | | 基 準 額 | 提 案 額 | R3 ～ R7 | 35,792,900円/年 | 35,792,900円/年 |
| | 基 準 額 | 提 案 額 | | | | | |
| R3 ～ R7 | 35,792,900円/年 | 35,792,900円/年 | | | | | |
| <p>安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○電気工事、環境衛生、イベント業務管理、防災等の有資格者の配置 ○講習会や研修会への参加による職員の技術・能力育成 ○定期的なセルフモニタリングの実施による業務改善や業務目標の達成結果の分析、未達成目標への早急な改善 ○清掃をはじめ、警備・設備運転・舞台・音響等の協力会社との業務調整やミーティングの実施 | | | | | | |
| <p>地域との連携や地域貢献度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○地元企業、自治体、近隣自治会等との連携・協力を重視した管理運営 ○会場設営、機器レンタル、ケータリングサービス等、主催者からの要望に対する地元企業の優先的紹介 ○職員採用時における地元雇用 ○保守管理をはじめとする委託業務の地元企業優先発注 | | | | | | |

施設名：徳島県立男女共同参画交流センター（仮称）（子育て支援業務）

| 区 分 | 公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークの 主たる提案内容 | | | | | | |
|--------------------------------------|--|--------------|-------|-------|---------------|--------------|--------------|
| <p>県民の平等な利用の確保と 施設の効用の最大限の発揮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○「安心・安全なこども室」と「いつでも、どこでも、だれでも」が利用できるワンストップ相談室」を基本方針とする施設の運営 ○行政や企業の会員向け「ネットワーク会報」をはじめ、「くーぽん丸。」、ファミサポ等の財団リソースを効果的に活用した広報による利用の促進 ○財団運営の「オンライン子育てひろば」と連携した子育ての孤立感や孤独感の解消 ○スタッフによる日常的なヒヤリハットの報告と本部における毎月の安全衛生委員会での報告の実施 ○入室時の検温、体調の聞き取り、消毒液の設置等、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策の徹底 | | | | | | |
| <p>効率的な管理運営 (経済性の追求)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○基準額（指定管理料）との対比 (税込) <table border="1" data-bbox="671 927 1265 1093" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>基 準 額</th> <th>提 案 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 ～ R7</td> <td>9,340,100円/年</td> <td>9,340,100円/年</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○財団所有のリユース商品の活用やおもちゃの手作りによる運営費の削減 ○点検チェックリストによる開館前、閉館後、巡回時の入念な確認や遊具の消毒、託児室・授乳室の清掃等の美化対策の推進 | | 基 準 額 | 提 案 額 | R3 ～ R7 | 9,340,100円/年 | 9,340,100円/年 |
| | 基 準 額 | 提 案 額 | | | | | |
| R3 ～ R7 | 9,340,100円/年 | 9,340,100円/年 | | | | | |
| <p>安定した管理のための 人的・物的経営基盤の状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○財団の子育て部門だけでなく、関係部門が連携する運営体制の構築 ○保育士や子育て支援員の常時配置、保育士による子育て相談の実施 ○子育て支援員研修の受講、各種セミナー・研修会の参加等による能力の開発 ○利用者アンケートによるニーズやクレームの把握と分析・検討を踏まえた業務の改善 | | | | | | |
| <p>地域との連携や地域貢献度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○財団構成組織である経営者団体への働きかけによる本センター及びこども室の周知の拡大や利用の促進 ○地元企業からの物品優先購入 ○職員雇用時における地元採用 ○本センター内での「フードドライブ」の実施 ○こども室拡充スペースの一角を活用した、こども服やベビーグッズ等の「リユースコーナー」の設置 | | | | | | |